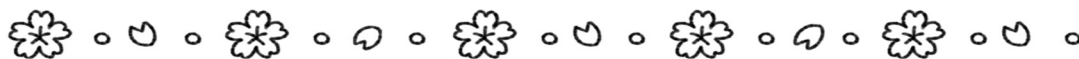
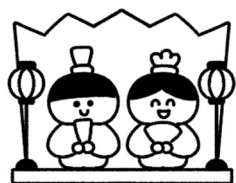


ぞうぐみだより

2024 年度 3 月 尚徳福祉会 生麦保育園 千田



桜のつぼみが膨らみ始め、春の訪れを感じています。子どもたちも卒園が近づいていることを感じている様子。まだまだ、遊び足りないことがたくさんあるようで、友だちと過ごす一日一日を大切に過ごしています。至らない点もあったかと思いますが、子どもたちと楽しい毎日を過ごし、保育者自身、学びの多い1年でした。残り1か月どうぞよろしくお願いいたします。



ひなまつり制作

ひしもちの形に切った画用紙の上に、おびなとめびなを飾りおひなさま制作をしました。

千代紙で折った着物は、見本を見て、「チューリップみたいに折るんだ!」と、折り方を発見した子が、友だちに伝えて教え合い進める姿が見られました。「一人一人の作品だから言葉で伝えよう」、「自分で作れると嬉しいよね」と声をかけると、「うーんとね、お山にして、ここはお袖になるから半分くらいかな?」と、言葉を考えて伝えていました。周りに模様を描いて飾ると、「あっ、この模様は〇〇ちゃんのだ」「こんな風に描くのもいいね」と、気づきや認め合う会話が聞こえています。

節分

2月3日に、栄養士さんにお話を聞いて恵方巻づくりをしました。フェルトで作った大きな恵方巻が出てくると、子どもたちは興味津々。恵方巻の中身の具や、節分に恵方巻を食べる由来を聞き、食べる方向を聞いてクッキングスタート。海苔にご飯をのせ、具材をたっぷりのせて巻ききれない恵方巻もありましたが、大きな口でほう張り、もぐもぐ。ぞう組のお部屋がシーンと静まり返る瞬間もありました。お椀に酢飯を入れて具材をのせた、スペシャルどんぶりも登場。自分たちで作った食事に「おかわり」の声が響いていました。

「自分の心の中にある弱い部分を追い払おう」と始めた豆まきは、「自分のすてきなところはどんなところ?」との話から自分の強みを発表したり、友だちの長所を伝え合ったりする機会になりました。「走るのが早い」「優しい」「苦手なことも挑戦してみる」と、自分のアピールポイントを話し、「困っていると手伝ってくれる」「絵が上手い」とお友だちの良さにもしっかり気づいている子どもたちに心温まる機会になりました。

その後に行った、チーム対抗豆集めゲームは大盛り上がりでした。



生麦小学校に行きました

1年生と学校体験をして、ランドセルを背負ったり、竹とんぼ、紐ごま、折り紙で遊んだり、5年生と学校探検をして、いろんな教室を案内してもらいました。優しいお兄さんお姉さんとの触れ合いに、小学校への期待が膨らんでいます。

お別れ遠足

京急、京浜東北線の2つの電車に乗って、洋光台にある「はまぎん子ども宇宙科学館」に行ってきました。ロボットの形のすべり台や、パズルで遊び、お楽しみのお弁当を食べ、プラネタリウム、惑星ジム、ボール転がし、魅力的なアトラクションに全力で楽しみました。帰りの電車は、かわいい寝息が聞こえましたが、保育園までしっかり歩いて帰ることができました。持ち物の準備、登園時間のご協力ありがとうございました。

★3月22日に卒園を祝う会を行います。詳細は、随時お伝えします。

★卒園を祝う会の後も、交流室で3月31日まで、通常通り保育を行います。